

(注) 多くのブレッドボードは、電源と GND はボード B まで接続されているので、論理 IC を正しい位置に挿入すること。

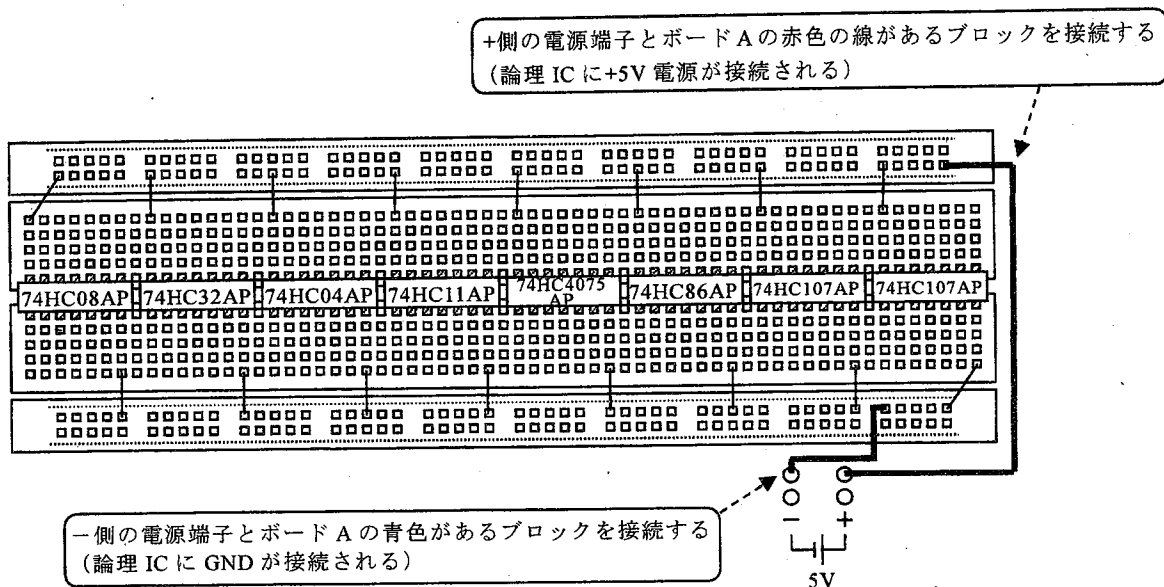


図 6 論理 IC に電源と GND を接続する様子

## 6. 実験方法

### 6.1 自己保持回路

自己保持回路は入力によって変化した出力の値を保持する回路であり、記憶を持つ回路である。

#### 〔実験 1〕 自己保持回路の観察

- (1) 図 7 の自己保持回路は 1 ビットの情報を記憶する回路である。
- (2) 順序回路では、回路の動作が複雑になり真理値表だけでは動作を表すことができない。そこで図 7 (b) に示すようなタイムチャートを用いる。
- (3) 図 7 (a) の自己保持回路を作り、図 7 (b) に示すように SW1 を操作して、出力の値が保持されることを確認せよ (動作確認の結果を報告すること)。

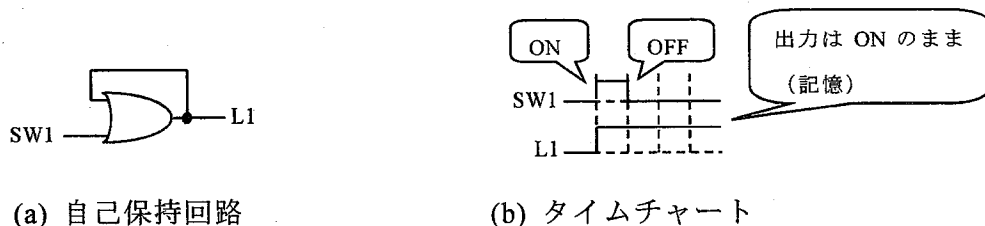


図 7 自己保持回路とタイムチャート

#### 〔実験 2〕 リセットつき自己保持回路の作成

- (1) 図 8 に示す自己保持回路は出力の値を保持する機能とリセット機能を備えている。
- (2) 図 8 (a) の自己保持回路を作り、図 8 (b) に示すように SW1 と SW2 を操作して、L1 の値